

滋賀県立近代美術館所蔵

小倉遊亀 絵筆にこめた愛

展覧会 2018年4月14日(土)～6月10日(日)

開場式・内覧会 4月13日(金) 14時～

105歳まで、愛を込め絵筆をふるった女性日本画家。
画業の全貌を、郷里の一大コレクションにより一挙公開。

日本画家・小倉遊亀(おぐら・ゆき)は明治から平成まで4つの時代を生き抜き、女性らしい優しさで現代的感覚あふれる作品を描き続けました。

本展では、国内最大規模の小倉遊亀コレクションを誇る、遊亀の郷里、滋賀県立近代美術館の全面的な協力のもと、画家の抱いた三つの愛—日本画への憧れ、身近なものに向けた眼差し、愛する家族の姿—を切り口に、初期から晩年にいたる画業の全貌を紹介します。

① 兄妹 1964年



Who is 小倉遊亀 (おぐら・ゆき、1895-2000) ?

日本を代表する、女性日本画家の一人。

一度は教職に就くものの、絵への情熱絶ちがたく、本格的に日本画家を志したのはようやく25歳のとき。

教鞭を執る傍ら制作に励み、31歳で院展に初入選。

以降105歳で亡くなるまで、80年にわたり旺盛な創作を続ける。

1980年文化勲章受章。

② 画人像 1962年

みどころ 1
女性ならではの眼差し 一 家族・静物一

愛する家族がリラックスしたときに見せる、やわらかな表情。
とりわけ好んだ梅をはじめとする、四季折々の花。
お気に入りの器や卓に盛られた、果物・野菜。
その一つ一つに宿る生命感をみずみずしくとらえ、慈しみをこめて家族画や静物画として数多く表しました。
画中に登場する遊亀遺愛の器類も、今回特別に出品します。
女性ならではの身近なものへの愛情の眼差しをご覧ください。



③ 葡萄 1959年



みどころ 2
小倉芸術の集大成 一 大胆・清新な人物像一

小倉芸術の集大成、人物像。
簡潔な輪郭線。明快な色づかい。人体のかたちの大胆な省略。質感まで伝わる繊細な衣服の描きこみ。
それらの絶妙なバランスによって、モデルの人物を的確に把握し、清新な造形に仕上げています。
家族や自画像を含む現代女性、愛らしい子どもの姿を生き生きと描いた作品を、制作プロセスを示す大下絵と見比べながらご覧いただけます。

④ 少女 1963年

⑤ 花屑 1950年 (5/15～ 展示)



⑥ 姉妹 1970年 (5/15～ 展示)



基本情報

展覧会名

「滋賀県立近代美術館所蔵 小倉遊亀 絵筆にこめた愛」

* 掲載スペースが少ない場合、下線部は省略可

会場 新潟市美術館 企画展示室

会期 2018年4月14日(土)～6月10日(日)

開場式 4月13日(金)午後2時～

開館時間 午前9時30分～午後6時(券売は閉館30分前まで)

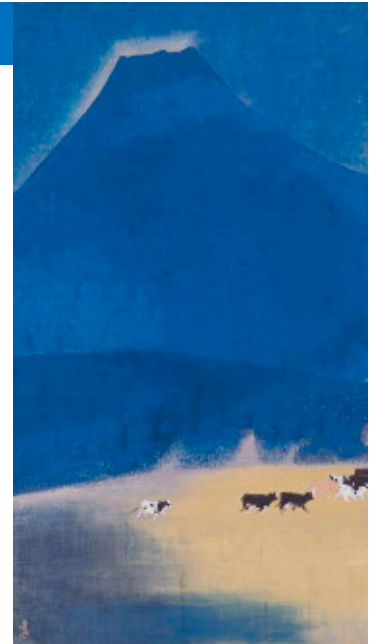
休館日 月曜日(ただし4月30日は開館、GWは無休)

観覧料 前売 一般 800円

当日 一般 1,000円(800円)

大学・高校生 800円(600円)

中学生以下無料



⑦ 青巒 1976年

前売券販売所〔販売期間：3/10～4/13〕

新潟市美術館、新潟市新津美術館、新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館、hickory03travelers、シネ・ウインド、DeKKY401、セブン-イレブン(セブンチケット)、新潟伊勢丹、インフォメーションセンターえん

* 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料

* () は、20名以上の団体、リピーター割引料金

主催 小倉遊亀展実行委員会(新潟市美術館、BSN新潟放送)

お問合せ先 新潟市美術館(担当：荒井直美、星野立子)

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051 E-mail: museum@city.niigata.lg.jp

関連イベント

1 記念講演「小倉遊亀の生涯と画業」

講師：國賀^{くにが}由美子^{ゆみこ}氏 (大谷大学 文学部歴史学科教授〔日本絵画史〕、元滋賀県立近代美術館専門学芸員)

日時：5月13日(日)午後2時～3時30分 会場：当館2階講堂 聴講無料(事前申込不要・先着100名)

2 ワークショップ 日本画に親しむ～小倉遊亀の絵筆に迫ろう

講師：永吉^{ながよし}秀司^{ひでし}氏 (新潟大学教育学部 准教授、日本美術院 院友 地域連携教育プログラム委員)

協力：公益財団法人 日本美術院 地域連携教育プログラム 協賛：小津和紙

日時：5月27日(日)午後1時30分～4時30分 会場：新潟市美術館 実習室+企画展示室

対象：一般(高校生以上) 定員：30名 参加費：1,000円 *往復はがきによる事前申込が必要(5/10必着)

*詳細は当館ホームページをご覧ください。

3 ギャラリートーク(当館学芸員による解説)

日時：4月22日(日)、5月20日(日)、6月3日(日)各日午後2時から(30分程度)

*要当日観覧券 *直接企画展示室へお越しください

★ 本リリースに掲載の画像①～⑦は、本展をご紹介いただける場合にかぎり、すべてデータで提供可能です。画像に記したクレジットと、「滋賀県立近代美術館蔵」を必ず明記ください。

滋賀県立近代美術館所蔵 小倉遊亀 絵筆にこめた愛

開場式取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書 (FAX 専用)

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆開場式（2018年4月13日午後2時～）の取材、記事掲載時の作品写真（画像データ）及び、読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、1部ご恵与ください。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	4月13日開場式・開場式以降 (月 日 時頃) ・取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※1媒体につき10組20名様まで
通信欄 ※画像を希望する場合は、該当する画像の番号を記してください。	